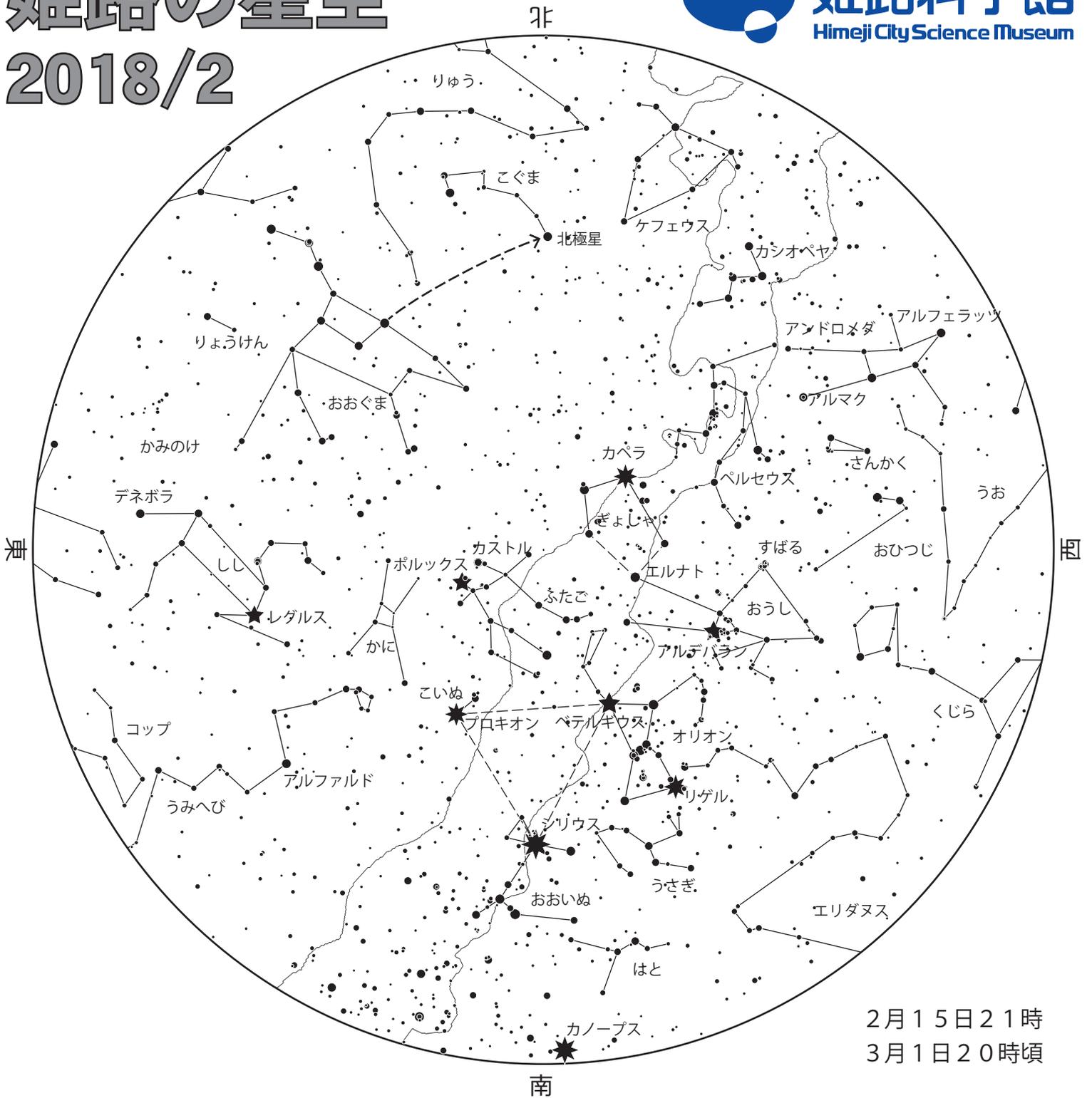


姫路の星空

2018/2



姫路科学館
Himeji City Science Museum



2月15日 21時
3月1日 20時頃

南の空の冬の星座は、明るい星が多くにぎやかです。中でも、結んだりボンや砂時計のように見える**オリオン座**が目立ちます。オリオン座には2つの1等星ベテルギウスとリゲルがあります。リボンの結び目にあたる「三つ星」を左下にのばすと、恒星では全天一明るい、**おおいぬ座**のシリウスが目立ちます。シリウスと**こいぬ座**のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結ぶと、冬の大きな三角ができます。オリオン座の三つ星を右上にのばすと、**おうし座**のアルデバランや星の集まり「すばる」が見つかります。おうし座の北側の五角形**ぎよしゃ座**にはカペラが目立ち、オリオンの左上には**ふたご座**のカストル、ポルックスがなかよくなっています。また、南の地平線が見える場所では、りゅうこつ座のカノープスが見えるかもしれません。シリウスについて明るい恒星ですが、大気の影響で減光されるため本来の輝きではありませんが、中国では「南極老人星」といい、ひとめ見ると寿命が延びるおめでたい星とされています。海辺などで挑戦してみましょう。

東から北東の空には、春の星座の**しし座**や、ひしゃくの形の七つ星「北斗七星」が見えるようになりました。北斗七星からは北極星を探せますよ。